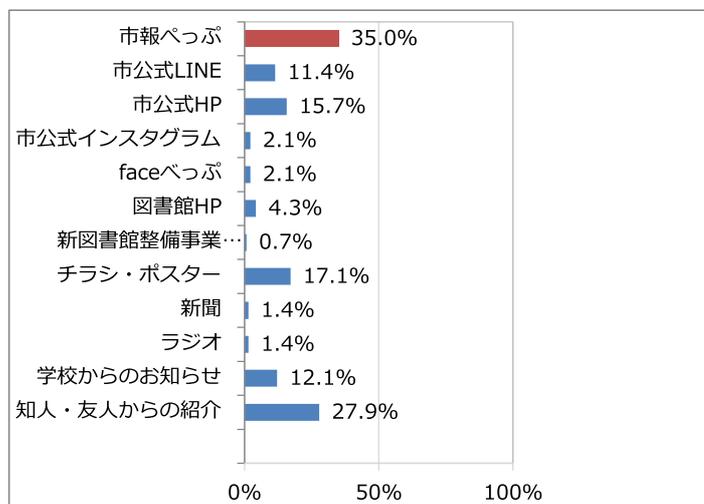


# 別府市新図書館等整備事業 オープンプラットフォーム会議vol.12 アンケート

参加者 200名うち回答者140名（回答率70%） ※自由回答は原文に即して掲載しています。

## 1. 今回のイベントは何で知りましたか？（該当項目に☑、複数回答可）

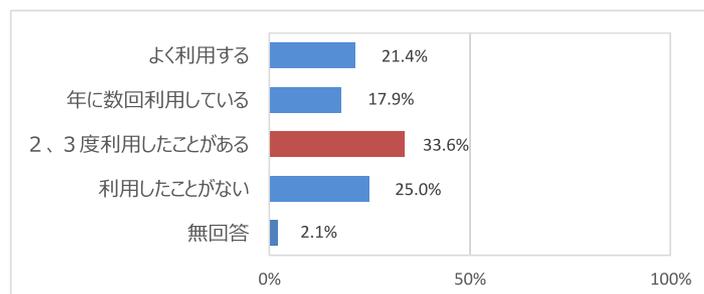
項目	回答数	%
市報べっぶ	49	35.0%
市公式LINE	16	11.4%
市公式HP	22	15.7%
市公式Instagram	3	2.1%
faceべっぶ	3	2.1%
図書館HP	6	4.3%
新図書館整備事業 facebook	1	0.7%
チラシ・ポスター	24	17.1%
新聞	2	1.4%
ラジオ	2	1.4%
テレビ	0	0.0%
学校からのお知らせ	17	12.1%
知人・友人からの紹介	39	27.9%
回答者数	140	



- ・市報べっぶを見て参加した利用者が最も多かった。
- ・SNSやデジタルの広報物からの参加者も一定数みられ、紙、デジタル両面での広報が求められていることがわかる。

## 2. 現在、別府市の図書館を利用していますか？（該当の項目の1つに☑）

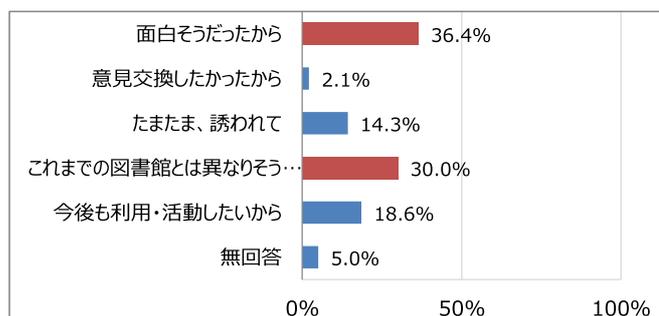
項目	回答数	%
よく利用する	30	21.4%
年に数回利用している	25	17.9%
2、3度利用したことがある	47	33.6%
利用したことがない	35	25.0%
無回答	3	2.1%
回答者数	140	



- ・今後図書館の利用を希望したいという理由での参加者も見られた。

## 3. 今回のオープンプラットフォーム会議に参加した理由はなんですか？（該当の項目の1つに☑）

項目	回答数	%
面白そうだったから	51	36.4%
意見交換したかったから	3	2.1%
たまたま、誘われて	20	14.3%
これまでの図書館とは異なりそうだったから	42	30.0%
今後も利用・活動したいから	26	18.6%
無回答	7	5.0%
回答者数	140	

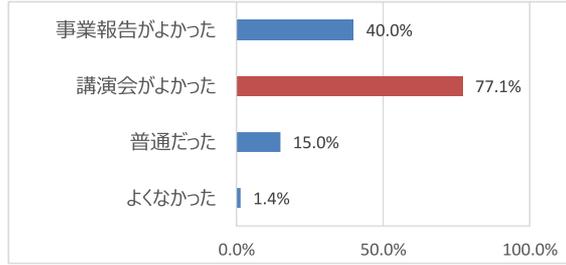


〈その他〉

- ・これからどうなっていくのに興味を持ちました。
- ・良い図書館ができることを期待して
- ・今まで学校図書館づくりに携わってきたから興味があった
- ・新しい図書館のことが知りたかったから
- ・新図書館のことを知りたかった
- ・今後は利用したいから
- ・内容を知りたかった
- ・図書館ボランティアに興味がある
- ・別府市立図書館の今後に参考になることを聞きたくて
- ・特に設計に（スタート時）但し現在は自身の居場所として。
- ・移住して1年、新しい図書館を知りたく、今後の更なる利用も考えて。

4. 今回のオープンプラットフォーム会議はいかがでしたか？（該当項目に☑、複数回答可）

項目	回答数	%
事業報告がよかった	56	40.0%
講演会がよかった	108	77.1%
普通だった	21	15.0%
よくなかった	2	1.4%
回答者数	140	

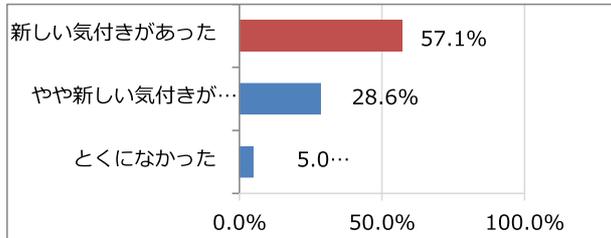


<その他>

- ・求められる新しい図書館のイメージが広がりました。
- ・新しい図書館がよくわかりました
- ・新しい図書館のことが具体的にわかりました。それぞれのコモンズの使い方。図書館の施設についてもう少し詳しく知りたかった。
- ・せっかくの画像が後ろの方に座ったのでよく見えなかった。遠慮しすぎた。データが多く、早口は理解に追いつけなかった。
- ・図書館が課題解決というのが、具体的でよかった。専門職である司書に期待するし、大切にしてほしい。
- ・図書館のイメージが変わり、楽しみが大きくなりました。大人のための図書館はワクワクしました。
- ・図書館の機能の多様を市民に知ってもらえてよかった。私たち市民の生活に図書館があるライフスタイルの提案が欲しかった。
- ・スライドだけでなく複数の動画や表での可視化などがよかった
- ・過去のチラシや地域資料の話が実に魅力的でした。地域資料にはそうした宝がたくさん詰まっています。大切にしてほしいです。
- ・コンセプトやこれからの図書館に期待されるものが分かりやすかった
- ・中井さんのお話が面白く参考になった。
- ・これまでオープンプラットフォーム会議で積み上げてきた内容がどう反映されているのか分からなかった。
- ・松田先生のお話はとても明瞭・論理的でわかりやすい。語り口や人柄が魅力的でよかったです。
- ・図書館の多様性が分かった
- ・質疑応答がよかった
- ・図書館が課題解決の場にもなっていることを知れて良かった。
- ・もっと具体的な市民図書館の今後の内容、取組を紹介してほしい
- ・3名の方の報告、講演が具体的によかった
- ・これもパークが目指している図書館は何なのか？、売りは何なのか？講演会で何を我々に伝えたかったのかわかりません。
- ・中井先生の全国の図書館の写真が小さく、もう少しゆっくり拝見できれば良いと思いました。
- ・講師の方のお話
- ・変化していく図書館に興味があった。わかりやすい説明だった。
- ・企画面から建物面から…とわけられていたのが良かったが、あまりに短い時間で残念。

5. 今回のオープンプラットフォーム会議で、新しい気付きがありましたか？（該当項目の1つに☑）

項目	回答数	%
新しい気付きがあった	80	57.1%
やや新しい気付きがあった	40	28.6%
とくになかった	7	5.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	140	



<その他>

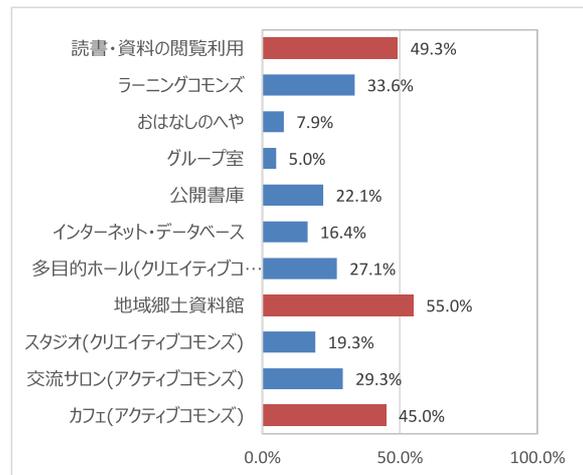
- ・図書館は自己実現の場所
- ・資料館の未来にこたえられる施設なのか疑問です。
- ・大人の図書館、専門性の高い情報をとり、情報を発信して、さらに発展できる場所になると思います。
- ・図書館は本を借りるだけでなく、その先につながっているということ。農業、就労支援など相談したい時にも利用できる図書館があることは知らなかった。
- ・図書館の重要性。
- ・以前のオープンプラットフォームで話し合った内容がどうなったかを知ることができた。
- ・図書館のあり方、市として変わっていく方向性が知れた。
- ・カフェはどんな状況になるのか未来像が見えた、あまりつづかなさそう
- ・図書館づくりで「にぎわい」をいう…そのことに疑問をもっていたけれど、今日の専門家の方々も、図書館の基本的な業務(知的好奇心に応えるや地域の歴史保存)が大切と言われてて安心した。
- ・新図書館の進む方向性を知れた。
- ・大人のために情報を与えたり、静かに読書をする場所でないこと
- ・能力や「〇〇実現」よりも多くの人たちが自分の居場所としての公共スペースを私は私のみならず。そして読みたい本と出合えるとしょかん、
- ・書店では出会えないような図書館であってほしいと話を聞きながら思いました。県立図書館からとりよせるケース多いです。
- ・カフェの利用者は実際には少ないとのデータは納得しました。郷土資料館に行って別府について学んでみたいと思いました。(的ヶ浜事件など関心があります)
- ・図書館の新しい機能、活用について
- ・図書館のHPIにあって「からだ情報館」で健康情報を得られたら予防医学にも社会貢献にもつながっていく図書館の可能性を感じました。
- ・別府の新図書館も世界に誇れるくらいの場所になれば嬉しいですね。
- ・専門職員の増員は大変良いと思いました。レファレンスの役割もぜひアップしてください。市内には別府大学があります。

- ・図書館、データ活用を専門的に学ぶ学生もいます。ぜひ、協働してもらいたい。
- ・絵はがき、パンフレットも50年で資料になる
- ・初回の参加につき全てが新しい気付きでした。
- ・静と動のゾーニング、専門職を常駐させることで働き盛りが通う大人の図書館を目指すことで利用価値の高い場所となる。
- ・図書館司書の仕事の可能性(地域住民や民間団体との協働)
- ・全国の図書館をまわられている方々のビフォーアフターが実際に知れて良かった。特に具体的に数で分かってよかった。
- ・図書館の新たな役割について
- ・新刊書を積極的に購入すべきという意見がなかったのは残念だ。
- ・他県での図書館の取り組みのすばらしさ、県内も早く素敵な場を提供してほしい。
- ・平成に入ってから、三世代→二世代の世に。少子化へ。子どもパークは三世代を復活に！期待します。
- ・松田氏の講演が扱ってる分野が近いこと、自分が経験したことに近くよく整理されていて大いにプラスになった。
- ・こんなに来年出来上がるまでに開かれる会議や集会、交流があったこと、詳しく知れて興味深かった。

・新図書館の新たな機能や役割について期待を寄せるような新しい気づきがあったことがわかる。

## 6.新図書館について最も興味のあるサービス・施設・機能について教えてください(該当項目に☑複数回答可)

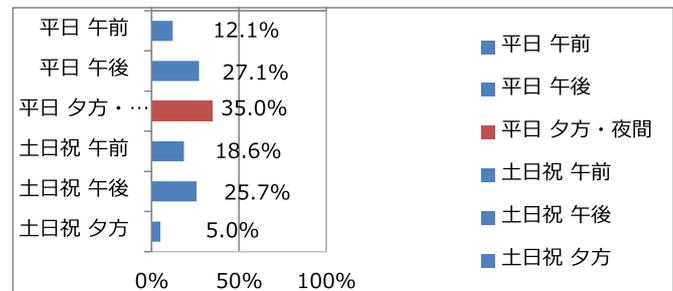
項目	回答数	%
読書・資料の閲覧利用	69	49.3%
ラーニングコモンズ	47	33.6%
おはなしのへや	11	7.9%
グループ室	7	5.0%
公開書庫	31	22.1%
インターネット・データベース	23	16.4%
多目的ホール(クリエイティブコモンズ)	38	27.1%
地域郷土資料館	77	55.0%
スタジオ(クリエイティブコモンズ)	27	19.3%
交流サロン(アクティブコモンズ)	41	29.3%
カフェ(アクティブコモンズ)	63	45.0%
回答者数	140	



- 〈その他〉
- ・人の語りのアーカイブ保存は興味がある。司書への期待。
  - ・電子図書について
  - ・豊かなレファレンスに期待。
  - ・松田先生のおっしゃっていた聞き書きのとりくみや市民からの別府がたりの場をつくってほしいです。それから読書会を行っているものとしては読書会のとりくみ等、本にまつわるイベントを期待しています。
  - ・別府の温泉や歴史について学べること 別府を気に入った 小中学生や別府市民(特に新規移住者)や観光客にも
  - ・郷土資料を大切に保管する役目をしっかり果たしてほしい
  - ・観光資源としての図書館
  - ・非来館サービス
  - ・足湯は無駄。別府に足湯の文化は無い。
  - ・カンパレンスの充実、他の専門部署との連携を広げてほしい。
  - ・年齢によって目的は異なるが、いずれも未来志向に！私にとっては物事を知る、落ち着ける、癒される「これびパーク」温泉と同様、交流の場です。3つのコモンズ(共有)アクティブ、ラーニング、クリエイティブ
  - ・会の流れもスムーズで市役所の方々の息づかいや準備も感じられ、感謝です。これからも別府を楽しみたいし、もっと参加していきたいです。ありがとうございました。
  - ・駐車場：台数が少なすぎる(新図書館となっても改善されるでしょうか?)
  - ・公共交通：バスの利便性が良くない。司書の方はどんな方になっているのか? 専門は? どんな図書館にしようとしているのか?

## 7.どのような時間帯に利用したいですか。最も利用したい時間帯をお答えください(該当項目の1つに☑)

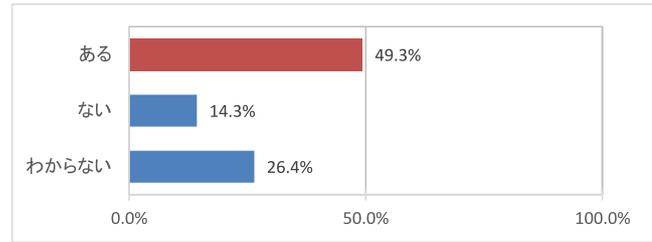
項目	回答数	%
平日 午前	17	12.1%
平日 午後	38	27.1%
平日 夕方・夜間	49	35.0%
土日祝 午前	26	18.6%
土日祝 午後	36	25.7%
土日祝 夕方	7	5.0%
回答者数	140	



・平日夕方夜間を含め、午後の利用を希望する回答が多かった

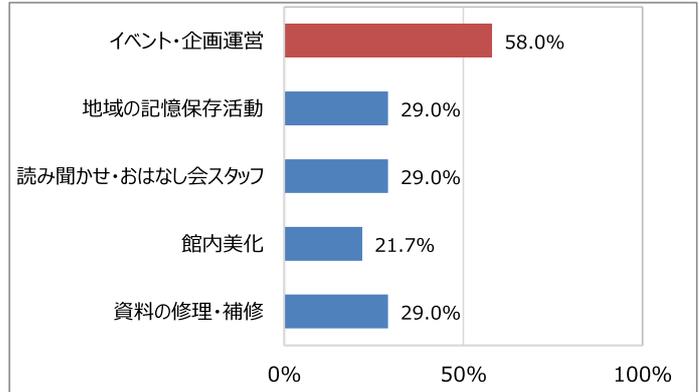
8. ボランティアやサポーターの活動に興味がありますか。(該当項目に☑)

項目	回答数	%
ある	69	49.3%
ない	20	14.3%
わからない	37	26.4%
回答者数	140	



8-1. どのような活動に興味がありますか？(8で興味があると回答した方、該当項目に☑、複数回答可)

項目	回答数	%
イベント・企画運営	40	58.0%
地域の記憶保存活動	20	29.0%
読み聞かせ・おはなし会スタッフ	20	29.0%
館内美化	15	21.7%
資料の修理・補修	20	29.0%
回答者数	69	



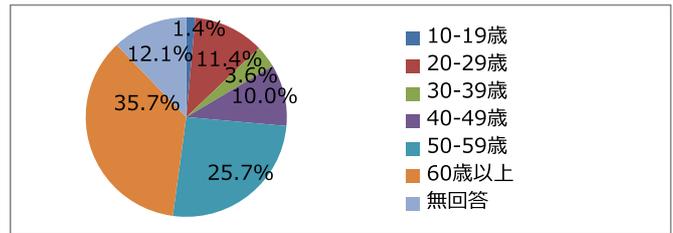
- (その他)
- ・池坊別府支部で公民館にお世話になっているのでお花を入れたい
  - ・図書館が知りたい要求にこたえたり、より充実した暮らしにこたえてくれるために成長していく...そんなイメージを広げてくれる講演会を開催
  - ・ボランティアがしたい
  - ・図書館まつりなどのイベントをやってほしい。スタッフとして参加したい。
  - ・お手伝いできることであれば何でもです。
  - ・自身絵本づくり&子ども達とのコミュニケーション
  - ・図書館の本質や新図書館のあり方、地域郷土資料の必要性について学ぶことができました
- ・イベント・企画運営に関わりたいという声が多みられた。

9. その他、ご意見、ご自由にご記入ください

別紙をご参照ください。

10. あなたの年齢・居住地を教えてください。(該当項目の1つに☑)

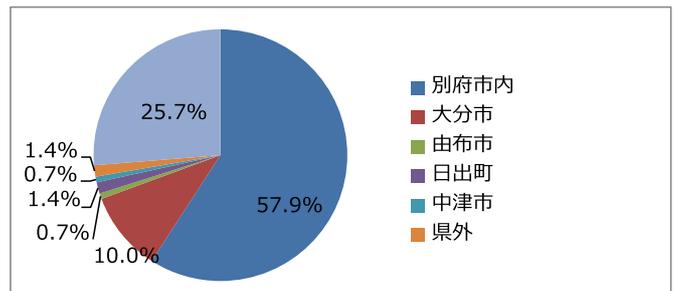
項目	回答数	%
10-19歳	2	1.4%
20-29歳	16	11.4%
30-39歳	5	3.6%
40-49歳	14	10.0%
50-59歳	36	25.7%
60歳以上	50	35.7%
無回答	17	12.1%
小計	140	



・60歳以上の参加が多かったが、20歳以下も全体の1割以上参加があった。

居住地

項目	回答数	%
別府市内	81	57.9%
大分市	14	10.0%
由布市	1	0.7%
日出町	2	1.4%
中津市	1	0.7%
県外	2	1.4%
無回答	36	25.7%
小計	140	



その他

・県外からは参加は福岡市、大阪府寝屋川市からの参加があった

## 開催報告（概略版）

### 新図書館等整備事業 オープンプラットフォーム会議 vol.12

「こもれびパーク新図書館の可能性～新しい100年に向けてまちの未来を創る～」

#### （1）開催の概要について

【開催日】 令和7年3月22日（土）14時～16時30分

【場所】 別府市公会堂 大ホール

【参加人数】 200人

【プログラム】

1 開会

2 新図書館等整備事業報告（別府市）

3 新図書館等整備事業アドバイザーによる講演会

講演① 「図書館が日本を救うー図書館の可能性ー」 常世田 良さん

（元立命館大学文学部教授。文部科学省『これからの図書館の在り方検討協力者会議』委員、文化審議会委員、県立図書館市町立図書館審議会委員、日本図書館協会理事、浦安市図書館長など。著書『浦安図書館にできること』など）

講演② 「ビフォー・アフター調査からみた居場所としての図書館づくり」 中井 孝幸さん

（愛知工業大学工学部建築学科教授。博士（工学）、一級建築士。安井建築設計事務所名古屋事務所、INA 新建築研究所名古屋支社を経て2006年愛知工業大学講師、2008年同大学准教授、2016年同大学教授）

講演③ 「あたらしい地域・郷土資料館『生きてる』ミュージアムをつくる」 松田 法子さん

（京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授。博士（学術）。建築史・都市史。大学院時代より別府の都市史を研究。単著に『絵はがきの別府』、共編著に『熱海温泉誌』（熱海市）『戦後空間史』など）

4 質疑応答 登壇者：常世田良さん、中井孝幸さん、松田法子さん

5 閉会

#### （2）新図書館等整備事業報告について

別府市より、これまでのオープンプラットフォーム会議における参加者からの意見やアイデアを反映した「こもれびパーク新図書館」の空間や機能を紹介しました。

成長する図書館として、知識を得る、知的好奇心を満たす役割や機能を求める意見を反映し、実際に手に取れる本が約2倍になることや、障害のある人もない人も誰もが利用者しやすいように書架の間隔や高さ、閲覧席の高さに配慮していること。また、人と人との関わりや市民活動スペース、カフェなどを求める意見を反映し、市民同士の交流や活動の場となる3つのコモンズを設け、市民の学びと創造を深める居場所になることなどが報告されました。

### (3) 新図書館等整備事業アドバイザーによる講演会について

#### 講演①「図書館が日本を救う-図書館の可能性-」

常世田良さん

別府市の新図書館基本計画に定める5つの指針に基づき、これまでの図書館プラス「大人のための図書館（課題解決型サービス）」が必要であるとし、鳥取県立図書館のビジネス支援や小山市立中央図書館の農業支援など先進的な取組を動画で紹介していただきました。

図書館の最も重要な機能は「多様で高度な専門的情報の提供」であり、専門機関、専門家との連携、交流スペースである「ラーニングコモンズ」の重要性を説きました。国内外の図書館における市民の自由な交流事例や、AI・ドローンなどサービス向上のための新技術の導入事例も挙げながら、図書館法等の法令に明記されている「地域課題の解決」を支援する「大人のための図書館」を支えるのは「人」であり、専門性の高い司書が必要であることを強調されました。

#### 講演② 「ビフォー・アフター調査からみた居場所としての図書館づくり」

中井孝幸さん

公共図書館は、貸出型、滞在型から課題解決型へと移り、「場」としての図書館への関心が高まっているとし、様々な視点に基づく事例報告と、新旧の施設における利用行動の変化に関する調査結果をもとに、居場所としての図書館づくりをお話していただきました。

田原市中央図書館の「元気はいたつ便」では、回想法を取り入れた訪問サービスで司書や学芸員が図書や民具を用いて現地で活動する様子を。愛知川図書館では、市民がまち情報を記載する「まちのこしカード」や小学校の総合学習で発表した内容を地域資料として収集する取組みなどが紹介されました。図書館の基本的な役割として、地域の課題解決のための資料提供と、記憶の倉庫としての地域の歴史や文化の記録を挙げ、来館を促す「きっかけ」と活動の「継続」が大切であると説きました。

#### 講演③ 「あたらしい地域・郷土資料館『いきてる』ミュージアムをつくる」

松田法子さん

収蔵ギャラリーと別府学ラウンジで構成される地域・郷土資料館が、歴史的・科学的情報のインフォメーションセンターとして、貴重な資料を見せる「蔵」としての公開機能や、学習・研究サポート機能、セミナー・イベント開催機能を持つことを紹介していただきました。

また、研究者としての別府との関わりや経験をもとに、人から人へ、語りの連鎖と出会いが別府の魅力であること。「人」そのものが「まちのアーカイブ」であり、「まち」そのものが「アーカイブ」であることを、自著「絵はがきの別府」における古城俊秀コレクションとの出会いを交えながら話し

ていただきました。そして、「蔵」としての資料館が、資料の持ち込みと情報提供の窓口となり、市民が企画を考え、アーカイブ作業を共に行う作用を継続していくことが「いきてるミュージアム」のコンセプトにつながると説きました。

#### (4) 質疑応答の概要について

講演終了後、3人の講師にあらためてご登壇いただき、会場の参加者から提出された質問票の中からいくつかを抽出し、「日本を救う図書館になるための市民側からの発信」「アーカイブ資料の保存に必要な情報や記録」「新図書館のアフターに期待すること」「司書の役割とAIの影響」などについて、質問者が回答を希望する講師ごとに一人ひとり丁寧に答えていただきました。

	
<p>新図書館等整備事業報告</p>	<p>講演 I</p>
	
<p>講演 II</p>	<p>講演 II</p>



講演Ⅲ



質疑・応答

## 9. その他、ご意見、ご自由にご記入ください

・すごいニッチな本があるとうれしいです。

・人を育てることの中に、司書を育てることがあります。資料館については、司書ではなく学芸員、アーキビストがあたるものです。市の各担当課の方々も図書館にまかせるのでなく、市民の要望、知りたい、やりたいに答えて下さい。

・オープンがとても楽しみです。

・質疑応答が一番良かったです。各先生からの発言が貴重であった。行事について全体的に静かすぎる。音楽など流れていると良いと感じた。

・別府市民ではないので客観的に意見を述べさせていただくと、別府は観光に特徴がある市ですが、生活面では坂が多く道が狭い、オーバーツーリズムの影響があるなど、少し住みづらそうという印象があります。そういった中でこもれびパークにより市民の幸福感を高める取組は素晴らしいと思います。本日の講演の中で、図書館から複合施設に変更しても「7割の人は変化を感じない」という共有いただき「それはさみしい結果だな」と正直感じました。また、カフェはニーズが強いが結局はあまり利用されないという傾向もお聞きしました。以上を踏まえると、こもれびパークでは「観光客」というキーワードはでてきませんが、カフェなどの有料スペースは雰囲気良く、観光客が集まると思うので観光客は有料、市民は「無料クーポン」を配布するなどして月1回は市民が木漏れ日パークを利用するようなスキームを作ったらどうかと思いました。長文失礼いたしました。

・老人が多いので椅子やテーブルを多くしてほしい。芸術、美術。音楽など文化を育て平和な世界を築いてほしい。別府を訪れる旅人、移住者が図書館に行って何を楽しんでどこに行けば出会えるかを学べる場所。美術館も同時に考えてほしい。収蔵物、絵画に申し訳ない。

・松田先生のお話、具体的でわかりやすかった。来春「こもれびパーク」開所、期待してます。良い講座ありがとうございました。

・新図書館について具体性が解り参加して良かったと思います。楽しみで今後、図書館をおおいに利用したいと思います。

・新しい図書館の開館が楽しみです。利用者にとっての交通手段の工夫がほしいです。(車の利用ができない利用者にとって)

・本の貸し出しだけではなく、交流スペースやカフェがあるのがとても魅力的だと思った。開館時間が施設・曜日が異なっていてわかりづらい。時間を統一してほしい。土日祝の夜も月に何度かでもよいので開館してほしい。館内にフリーWi-Fiはあるのか気になった。資料館について、「研究する」もだが「探求」であるとも感じた。探求的な学習の時間でも利用しやすいと思う。

・本当に利用したい図書館を強く希望、期待しています。市外からの利用も増えるような魅力ある図書館になってほしいです。

・不易流行。図書館の本質など、とても勉強になりました。

・スマホを中心に情報をとる時代にあって本や新聞などの活字から情報をとり偏りなく情報をとれるように「情動的な健康」を身につけてもらいたい。30代~50代に利用してもらうために何をするか具体的に考えておかないといけない。子どもを連れてくるのではなく、自分自身(本人)が利用する。別府は市民劇場や大衆演劇が根付いているところだが「図書館」のイメージがないが逆に新しい形の図書館ができそう。

・従来の静かなイメージの図書館ではなく、人の交流が盛んなアクティブな場になりそうでとてもワクワクした。

・高校の総合探求の時間に鉄輪や別府駅周辺のフィールドワークを行いグループで魅力や課題をみつけて発表する機会があったのですが、学校内でおわってしまうのでなにか外に発信する機会がほしいです。

・1年後の開館をととても楽しみにしています。学びの場、交流の場、居場所として通わせていただきます。30~50代の人々の活用を！まさに然り！

・年金生活に入り、本を新たに買うことも趣味以外は買わなくなった。図書館を利用しようと思っても時間がなかなか作れない。今日の話聞いて新しい図書館を気軽に人を誘って行ってみたくなりました。そして自分の趣味の世界の歴史も調べてみようと思った。最後の質問コーナーは充実していた。

・別府の新しい図書館のことを具体的に教えてくれる説明会の開催はいつでしょうか？図面を細かく見せて、このように使えます。ここは外でつながっている、ここから入れるなど図書館の中のことを見える化してほしい。館長さんや司書の方を含め、こんな図書館になりますという説明会がほしいです。

・地域郷土資料館には専門の司書？研究者、学芸員？が配置されるのでしょうか？今後貴重な資料を保管していくのに、大切な場所と思われれます。いい話が聞けました。とても楽しく聞きました。

・一言カードについて、3回目の講演が終わって講演終了後、カードの回収時間が短く、すぐ講師3人が登場し、カードを出す時間がなかった。

・若い世代が図書館に行くきっかけづくりのしかけをぜひ考えて頂きたい。そこから市民グループに発展させていく仕掛けも大いに期待しています。

・資料、施設、ヒト(図書館員)のこれからを考えさせられる機会だった。先生方の専門分野のバランスが良く、イメージできた。ただ、日々の生活のどこに図書館が介在すると、どんな変化があるのかユーザー目線でのお話が聞きたかった。

・新しい時代の歴史・文化を創る人材を育てる場としてのこもれびパークに期待しています。

・別府の人たちが作り上げていっている新しい図書館という感じを受けました。とても楽しみにしています。

・図書館司書に求められる専門性がとても重要だと感じました。調べもので利用することが多いので、新図書館のopenが楽しみです。資料館から発信されるセミナーやワークショップも楽しみです。

・電子図書は誰が監修してどの様に運用しますか？図書館にいかなくても利用できますか？起業する人のサポート、セミナー開催スペースがあると、とても地域や人の活性化につながると思います。不登校が社会問題になっている最近ですが学校には行けなくても図書館で得られる知識、コミュニティ、情報は多大で無限の可能性があると感じています。からだ情報館、とても興味深いです。とても期待がもてる内容でした。

・これまでの図書館とは機能や性質が異なってきていることが分かった。多様な専門情報が得られることが楽しみ。

・開館が楽しみです。夜間の利用も可能なようなので、これも楽しみです。

・新しい図書館が多様性に富むユニークな場所になることを願っています。障がいのある人との共生があたり前になるようにひらかれた図書館を期待しています。箱のイメージは湧いたが、中身がよく分からなかった。

・市民がもっている古い写真を収集、保存したりするという企画はありますか？方言等、音の記録も研究してほしいです。（歌、民謡）とにかく楽しみです。

・郷土資料を集めて公開する場所を提供してください。

・郷土資料館がコンパクトな感じ。山々や温泉、火山など地学の専門的な事がもっと調べられるように。フリースペース、イス、テーブルや本棚のある空間で絵などの展示をしてほしい。金陽会の絵画クラブ(菊池恵楓園・ハンセン病療養所)を紹介するぞうぞえみさんの絵画展は企画したい。

・県図書館は営業時間・日の短縮をすることによって状況に応じて見直しも。図書館員に質問できる範囲、内容はどのようになりますか？

・今後、更にこの企画を発展させてください。参加させていただきます。

・新図書館への期待が高まりました。ありがとうございました。

・新図書館とても楽しみにしています。子どもたちの学習スペースや好奇心をかき立てる企画など探求心を育てる豊かな場所であってほしいと思います。大人にとってもリファレンス能力の高い図書館が問題解決の相棒になってくれたら暮らしやすい街づくりの魅力アップに繋がると思います。関係者の皆様、ご尽力ありがとうございます！！

・資料(特に専門書)を増やしてほしい。開館時に一定のレファレンスブックをそろえるには圧倒的に資料が不足している。オープンプラットフォーム会議で学んだことを新図書館の

運営に生かしてほしい。

・新図書館の開館に期待しています。

・市民のための語学教室や、外国人のための日本語教室、またそのそれぞれの講師や運営者を育てるための教室をやってほしい。就職、起業それぞれ専門家がいるので、もちまわりで専門家相談、曜日などを設定すると思います。若者が地域に残ったり、移住してくるために静かな学生学習コーナーや逆にさわがしくても集まれる場所はたっぷりつくってあげてほしいです。

・蔵に興味があります。時間をかけのんびり見たいと思いました。

・別府市新図書館がどのような目的・意義を持つていのか知ることができた。またそれを通じて今、図書館に求められているものを見解を深められた。

・様々な課題解決機能を図書館に求めるなら人材の確保が必要で、そのためには働く人の待遇も良くなければ求める人材はあつまらないと思います。また、市役所の各課も図書館との連携に協力していく意識を高める必要があると思います。

・初めて参加しました。来年の開館が本当に楽しみになりました。松田法子さんの講演を楽しみにしてました。もう1度「絵葉書の別府」読み返します。

・松田様のお話が臨場感があり、よかったです。

・図書館の駐車場が少なく、車を止められなくて、困っていましたが、新しい図書館の駐車スペースは広いのですか？老人ですので運転もへたです。狭すぎるのは大変です。どうなっていますか？

・松田先生の別府への思い、とても嬉しかったです。私も移住者ですが別府の良さを伝えていけるように図書館を利用したいです。

・別府公園、ビーコンなど周辺施設との連携！

・初めて聴講しました。活字離れが進んでいる中、図書館が果たす役割は何なのか。

・全国の図書館また海外の情報もたくさん得られてよかったです。1年後の完成がとても楽しみになりました。「こもれび」の由来も聞いて嬉しかったです。素敵な名前ですね。楽しく学びました。16年前に都会から移住。もっと大分の資源を理解していれば地域の提案ができたと思います。

・これまで図書館を利用したいときは県立図書館へ行っていた。別府にも県図書に負けない程の充実したものになりそうで大変期待している。別府の図書館はとても静かに管理されているが、閲覧テーブルが共同の大きな1個だったりで、ゆっくり読むことができないので県図書が優れているとおもっていた。

・質問コーナーででてきた司書の教育－人材の育て方－図書館の本質などはしっかり賛同できました。騒音の話も詳しく面白くうかがいました。会場の方もとても積極的でこういう話をきいていると努力されている気がします。ありがとうございました。別府の魅力は”人”に大賛成です。図書館で本(絵ハガキについて)をさがして、もっと別府を知りたい。

## 質疑応答 一言カード 一覧

・優秀な司書が必要と言われましたが具体的なイメージと育成プランがありますか？(私は学習塾を開いていますが常に将来の目標を考えさせるような声かけをしています。司書という未来も伝えたいと思っています。)プライベート、プライバシーの確保としての空間と公共性、コミュニティオープンスペースとしての空間としての複合施設で図書館において気をつけることは？

・質問ではありませんが意見として①ターゲットを絞った蔵書コーナー(ビジネス、就業、子育て)の用意の宣伝が必要と思いました。②専門家の相談窓口(農業、経営、仕事、子育て)が難しくて別府市や県などの支援制度を紹介でき、別府市役所の担当課につなげる仕組みづくりが必要と思いました。※図書館と市役所が近いことも有効に働くとします。

・大人が利用できる図書館で図書館のみの情報で製品も作成できるのはすごいと思いました。(解決型のサービス) いろんな情報や本はどうやって集めるのですか？(就職活動に必要な本を図書館が入荷しているのもすばらしいなと思いました。人が集まれる場所、専門的な知識が集まれる場所 Iターン、Uターンを引き寄せるためには優秀な図書館が必要。

・専門的な知識を持った司書が必要(人が大切)だということ、非常に共感しました。そこで一点質問です。どのような環境、制度などがあれば、その様な司書が育つと考えますか？メーカーズスペースにとっても関心があります。先日、博多駅の VIVISTOP に見学に行きました。小学4年生以上の子どもを対象とした無料のものづくりスペースに感銘を受けましたが、アメリカのメーカーズスペースは子どもだけでなく大人も、ものづくりを学べる場であることが「すごい」と思いました。日本でもメーカーズスペースが広がるためにはどうしたらよいですか

・これまでの図書館に機能をプラスし、課題解決型サービスを提供することが大切だとおっしゃっていましたが、児童サービスについてはどうお考えですか？資料で子育て世帯の図書館利用者の多さに触れられていたので、気になりました。土日はやはり親子で図書館を利用される方が非常に多く、未来の利用者ともなるお子さんへのサービスは、私は重要だと考えています。常世田先生の資料の主題とはずれてしましますが、ぜひ考えをお聞きしたいです。

・個人の自由と未来志向に「まちづくり」はどの程度の税金でまかなっていただけるのでしょうか？一人暮らし、一人親、孤児、身心障がい者他、様々な生きる「カテ」での図書館の扱い方

・とてもよくお話はわかりました。では別府の新図書館で実現できることは？

・別府では運営の一部(アクティブcommons)の運営に指定管理者にまかせる方針だが、講演を聴くと職員(司書)の意識改革が大切で民間事業者(指定管理者)の入る余地はないのではないか？別府市の運営形態についての意見を伺いたい。

・小山の図書館のようにおまつり等、図書館から飛び出して活動するための司書さんの研修はどうしたのですか？図書館の司書さんや職員の意識変革のあり方が必要だと思います。図書館と他の専門機関との連携が大切だと思うのですが、まず第一にすることは？

・今までの図書館の利用は「通う」ところでしたが、コロナ禍で発達、浸透したリモートを「通う」の代替機能として利用できるか？PC やスマホのみではなく一般に利用可能な TV、ラジオに対してその機能を付加させるようなことは可能ではないですか？

・今回、こもれびパーク誕生にも関わられたと聞いています。図書館が市の直営になった事は本当に良かったと思っていますが、指定管理の民間団体(私企業?)と一緒に全体を運営していくという点に非常に心配をしています。特に、個人情報を扱う事の所を公営である図書館と民間の指定管理団体が一緒に共有するということは、やはり問題なしとは言えないのではないのでしょうか？お考えをお聞かせください。

・学校へ行けない子ども達が集える多目的スペースも図書館に求めているのですか？今回のテーマと異なるのですが。

・使用された映像が 10 数年前と大変古かったのが、ちょっと気になった。

・電子化書籍について、海外、国内などの事例等ありましたら、お教えてください。究極は自宅PC であらゆる資料が参照できるのが利用する側の理想ですが、著作権、機密の問題があると思います…

・いろんな場所における状況、よくわかりました。カフェのお話、とても納得でした。では別府新図書館ではどのような図書館としての利用活用ができるようになっているのか、建築上からご説明いただきたい。

・チラシや地域でおきた事を資料として残す図書館の話がとても良いとりくみだと思いました。私が図書館に最も求めるものが詰まってると感じました。地域で起きた出来事が(特に自分に

とって大切な出来事が)あまり大事にされていない気がしてなりません。「地域の生活史」を残すことの重要性について考えをお聞かせください。追伸、沖縄に住んでいましたが、沖縄は日本で最も雨が降る土地なので雨が降っているというのはむしろ日常の景色です。まとめのところ「身近なステップ」の具体例がよく分からなかったなので、教えてほしい。(スライド後ろから3枚目)

・「きっかけ」づくりに市民団体として協力したい。図書館も市民との協働を考えてほしい。

・とても興味深い発表ありがとうございました。音のゾーニングはとても大切な示唆かと思いました。利用者3割、飲食店の入れ替わりが激しいことをふまえると、多くの人は「図書館は静かにして、飲食はひかえるもの」というイメージが強いのではないのでしょうか。某シアトルカフェに多くの人が集まる実情を踏まえると、音のゾーニングによってBGMを流すなど、もっとメリハリのある空間があっても良いのではないかと思いました。こうした実例はあるのでしょうか？

・図書館はいろんな活動ができるのが目的、図書館と子供たちは情報をかいして仲よし。本と本とつなぐ役割。ビフォー図書館 単独、アフター(複合)多い。別府の図書館はカフェや資料館などがひっついているということですか？図書館 成長する有機体と言われている。過疎化が進む町において公共施設、その中での図書館のあり方についてお考えなどありましたら教えてください。ここに来れば誰かに出会える、交流の場としてのあり方など。

・図書館＝静かに本を読む所というイメージがまだにあったので、静と動の「音のゾーニング」の考えは面白いと思った。静かにしたい人、交流したい人、両方にとって居心地の良い場所が作られれば良いと思った。

・図書館×コミュニティー・スペースの割合、又、双方の仕切りの必要性、双方の見える化は？方策は。

・図書館の多様な場所としての機能、利用圏域を考慮することの重要性についてよく理解できました。質問ですが、図書館に足湯という場所、空間があることについて中井先生はどう思われますか？私としては本の破損や維持、管理など、メリットよりもリスクの方が大きいのではないかと感じます。この点について、ぜひ先生のご意見をお聞きしたいです。

・野口天満神社、別府公園、日本画ですが資料になりますか？

・歴史や文化を守るだけでなく、発信活動などは行われますか？

・松田先生のお話を聞いて、こもれびパークへの「郷土資料館」としての機能に期待が高まりました。ですが保存場所は無尽蔵ではないため、永久保存する歴史的アーカイブと、一時保存して捨ててしまう資料の選別が非常に難しそうだと感じました。アーキビストの在中などが大切なのかなと思います。資料の選別について、松田先生の考えを聞きたいです。

・私自身、大学入学を機に別府にきて地元の方との交流を通じて別府について知っていく感覚があったので、「街そのもの、人そのものがアーカイブ」という言葉に納得した。資料が体系的に整理され、外部の人にも開かれた形で展示されれば、より別府の魅力が伝わると思う。

・別府温泉を研究する上で泉質や揚湯量の経年データはとても大切かと思います。従来では保健所が収集していましたが多すぎて対応しきれないのが現状かと思います。モニタリングとデータベースの構築ができれば、より(水)温泉資源管理技術が向上すると思います。(絵はがきの別府は湧水情報を集める時にとても役立ちました。ありがとうございました。)これを踏まえたとき、「新しい地域・郷土資料館」ではどこまで出来る可能性があるのでしょうか？

・郷土資料館(生きてるミュージアム)足湯のある資料館。別府のことが詳しく調べられる。(別府学)別府が育てた研究所 別府は人から人へ連鎖していく。別府は人そのものがアーカイブになってきた 資料が集まらないといけないし、整理しないといけない。

・とてもお話はよく分かりました。お話のとおり利用使用、活用されるといいなと思います。そのためには専門家、研究者が常時いることが大切だと思います。どのような専門家がいてほしいですか？

・ぜひ「別府の共同温泉」の項目にもフォーカスしていただきたい。共同温泉の歴史と現状 継続するための課題。共同温泉に入るための入浴マナーなど特に若い人に知ってもらいたい。

・別府の蔵・資料の収集に力を入れる、とのことでした。当然のことながら学芸員さんが軸になるかと思いますが、管理・運営体制としては、どのような状況でしょうか？人的体制について知りたいです。(図書館司書さんが兼ねる、ということになるのでしょうか)

・既刊の本、楽しく読みました。「別府市資料史」今後、発刊のご予定ありますか？待ってます。

・地域・郷土資料館が玄関から離れていると思っていたら、外から入ることができる知り安心しました。(一つ心配が解消しました)民間伝承のようなもの、個人の生活史やうわさに関する記録や市民による記憶について(市民運動も含み)とても興味があります。「市民からの資料を集めていく」ということへの意義について改めてお聞かせください。※岸ママのエピソードにはびっくりいたしました。笑

・資料の収蔵はどうすると良いのでしょうか。例えば現図書館の書庫を使うなど。市内にある大学(京大、九大、別大、etc)の研究概要なども置いてほしい。司書とともに学芸員の配置が必要では。

・「別府ラウンジ」は空洞的活用が特徴とされますが、図面から見て、なぜもう少し広く、又、高さにも種類を多くはできなかったでしょうか？

・別府市美術館の収蔵品、民具などとの仕分けはどのように考えていますか？

・NHK のブラタモリで松田さん拝見しました。これからもご活躍ください。別府おんせん(地元泉)もたのしんで下さい。私は県外出身ですが、今や地元泉を利用して地元の方とも仲良くさせてもらっています。

・別府の新図書館が日本を救う図書館になるために市民はどのようなところに発信すればよいですか？利用者として、あるいは要望・意見を伝えて、それを連携につなげる方法はどのようなことですか？実際に「からだ情報館」のように専門的な情報を伝える場所にするためには、医療関係者がそこに連携する方法を知りたいと思いました。

・アーカイブ作業を一緒に行うために資料の保存に必要な情報、記録すべき情報は何か？「市民から持ち込まれる資料が集まっていく」というお話。ぜひ実現できるといいなと思いました。※古い郷土資料がもれなく大切にされることを願います。

・新しい図書館のどこに人の集まりを期待していますか

・いろんな図書館の紹介をいただき、とても興味深かったです。たくさん知って調査されている先生から見て、別府の図書館はまだ1年後の完成ですが、どのように感じていますか？ビフォーがあまりにも小さすぎて学校の図書室より認知されていないと思うので、アフターには期待は大きいことは確かです。先生から見た別府の新図書館、こうなりそう、ここに期待と感ずることを聞かせてほしいです。

・図書館の本質って何ですか？

・松田さんにとっての別府の魅力って何ですか？

・課題解決型の図書館では専門性の高い司書さんが求められますが、司書さんの負担が増えると思います。他の図書館ではどのようなフォロー、教育をされているのでしょうか？

・①司書の未来の働き方や新たな役割は何が考えられるか？AI の影響など。②司書の質を高めるには具体的に何をすべきか？成果報酬型にする等。③図書館に残す本の選定基準は何か？それ公開できないか？